

丸の内地区地下歩行者ネットワーク工事

発注者 : 東京都 都市整備局
施設所在地 : 東京都千代田区
調査見学時期 : 平成 18 年 10 月
工事概要

10 月に丸の内地区の、地下歩行者ネットワークの改修や新規工事の状況を視察した。東京駅の丸の内側では、「丸ビル」や旧国鉄本社跡地の「丸の内オアゾ」などの建替えが進み、現在、「新丸ビル」が建替え工事中である。東京駅も創建当時の赤レンガ 3 階建への復元に向けて準備中であり、これに合わせて駅前広場も再整備される計画になっている。

地下では、東京駅から工事中の新丸ビルに向けて、地下広場の拡張工事が進められている。また、丸ビルと新丸ビルを隔てる行幸通りの地下にある丸の内駐車場の改修工事が進められている。この地下 2 階構成の駐車場の内、地下 1 階部分を駐車場から歩行者通路に造りかえる工事が進行中である。この新たな歩行者道は、丸ビルや新丸ビルとも連絡される。将来、この連絡路は更に南北にビルの地下を貫く新たな歩行者のネットワークとなることである。

さらに、地下 2 階部分の駐車場はそのままであるが、地上からの出入はこれまでの行幸通りからではなく、丸ビルや新丸ビルなど、近接しているビルの地下駐車場からのアクセスとなる。この丸の内駐車場を介してビル間の駐車場のネットワークが形成される。これにより、駐車場の地上出入口の整理や、駐車場の効率的な運用が期待される。行幸通りは中央部分に並木が整備される。この中央の車線は、天皇陛下の行幸の他、外国の新任大使が着任の際に、親任状を天皇陛下に奉呈するために、東京駅から皇居まで馬車を仕立てて通る道としても使われて来た。東京駅の復元と併せて、わが国の顔として相応しい景観形成を目指して整備が進められている。

このように、現在、東京駅周辺では地上と地下の再構築の工事が進行中である。完成の暁には、東京駅丸の内地区はこれまでも増して観光スポットとして、国内外の多くの観光客が訪れることが期待される。（G E C ニュース第 2 0 7 号より抜粋）